

向山遺跡出土近世遺物



〔登錄年月日〕平成二年一月一四日  
 〔種別〕有形文化財（考古資料）  
 〔名稱〕向山遺跡出土近世遺物  
 〔点数〕四三点  
 〔所有者等〕杉並区教育委員会  
 〔所在地等〕大宮一―二〇―八（郷土博物館内）

## 向山遺跡出土近世遺物

本遺物は、区立済美教育研究所改築工事に先立つ発掘調査によって出土したもので、江戸時代後期のゴミ捨場と考えられる範囲から集中して発見されたものである。

この遺物集中箇所からは、ごく少量の陶磁器破片、金属器類も出土しているが、土製玩具類が比較的まとまって捨てられていたのが注目される。

出土した土製玩具の種類・点数は、泥めんこ二七点、泥人形六点、泥人形の抜型一点、土笛一点、飯事道具八点である。泥めんこについては、武蔵野台地東部から下総台地にかけて集中的に出土することが知られているが、江戸を中心に近郊地域において流行した庶民の玩具と考えられる。

本区において、発掘調査による近世遺物のまとまった出土例としては、先に西田小学校北遺跡、高井戸東遺跡の二例があり、本資料が三例目である。

江戸を中心に流行していた玩具が、杉並においても普遍的に分布していた事を示す資料として、また当時の庶民・子供の遊びの一端を示すものとして貴重な資料と言える。

【文化財所在地】

